

卒業生からの意見を本学の教育・研究の改善に活かし、人材育成に繋げるためのアンケートについて

〈調査概要〉

目的：卒業生から、在学当時を振り返り社会人の立場から本学の課題について意見をいただき、これからの教育・研究、大学運営に活かしていく。

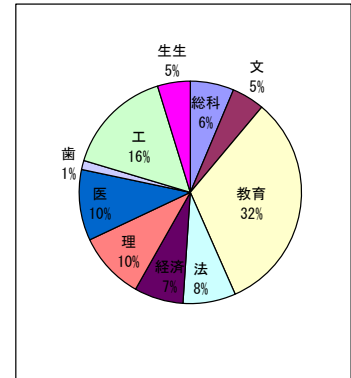
対象：学部卒業後5年経過の者

方法：入学時の家族住所あて調査票を送付し本学あて返送。

期間：平成25年12月20日～平成26年1月17日

状況：発送数2,443、未達数184、回収数389、有効数389、回収率17.2%

内訳：総合科学部24、文学部20、教育学部125、法学部29、経済学部27、理学部37、医学部41、歯学部6、工学部62、生物生産学部18



〈調査結果〉

(大学生生活全般)

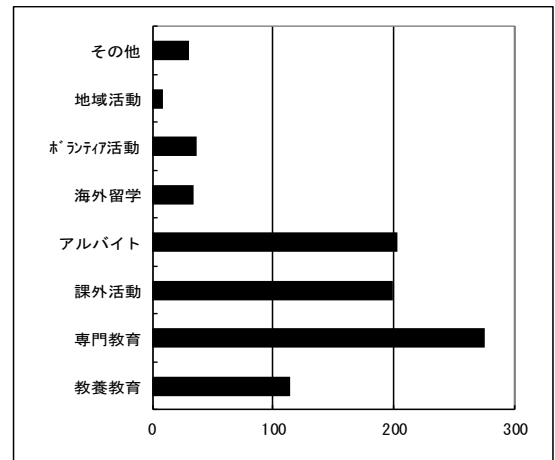
【質問】大学生生活全般で、現在役に立っていると思うものは何ですか？(複数回答可)

①教養教育 ②専門教育 ③課外活動(サークル等) ④アルバイト ⑤海外留学 ⑥ボランティア活動 ⑦地域活動 ⑧その他(具体的に： )

【結果】

最も評価されていたのは②専門教育で、評価の大半を占める上位4位の順位・割合は去年と同様である。②は教育学部・法学部・医学部においては直接的に役立っているという意見が多く、理工系学部では研究者・技術者としての基礎知識を習得できたと評価する意見が多かった。

学外活動である④アルバイトの評価が高かった理由としては、社会性・人間関係の形成力・コミュニケーション能力を高める機会となったことがあげられている。年齢層やバックボーンの異なる学生以外の方たちとの交流の中から、礼儀やマナー・上下関係・交友関係の築き方を学ぶ、自己形成の場となったようである。これは、学内の③課外活動(サークル等)、及び⑥ボランティア活動についても同様の意見が見られた。①教養教育は、直接役立ったとする意見がある一方で、間接的にも役立っていると認識できる機会もあり、知識・教養の重要性を認める意見が多い。



(教養教育)

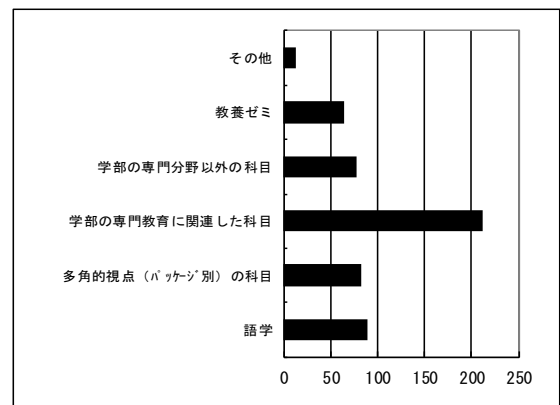
【質問】教養教育で、現在役に立っていると思うものは何ですか？(複数回答可)

①語学 ②多角的視点(パッケージ別)の科目 ③学部の専門教育に関連した科目 ④学部の専門分野以外の科目 ⑤教養ゼミ ⑥その他(具体的に： )

【結果】

去年と同様、③学部の専門教育に関連した科目が突出して評価されており、以下は大差がない結果が得られた。

③学部の専門教育に関連した科目については、専門課程だけでなく、社会に出てからも学修したことが基礎知識として役に立っているという評価が多数であった。一方で、役に立っていないと評価した方からは、教養教育の



中で専門教育に関連した内容を学ぶ目的などを授業で伝えて欲しかった等の意見が寄せられた。①語学については、英語・初修外国語ともにもっと学んでおけばよかったという自身の学習態度・意欲に対する反省が多数寄せられた。在学時には語学の重要性に気づく機会が少なく、大学卒業後の仕事やプライベートにおいて、その必要性を実感しているものと考えられる。その上で、授業のあり方等に対しては、社会に出てからも十分に役立つ能力を身に付けることができる、より実践的な授業を行ってほしいとの意見が寄せられた。②多角的視点（パッケージ別）の科目については、課題を解決する上で、様々な視点から考えることの重要性を理解する上で役に立っているという意見がある一方で、その重要性をもっと在学中に伝えてもらえれば、より有意義なものになったとの意見が寄せられた。④学部の専門分野以外の科目については、大学卒業後に専門外の知識が必要となる機会において役に立っているとの意見が寄せられ、有意義なものであったと考えられる。

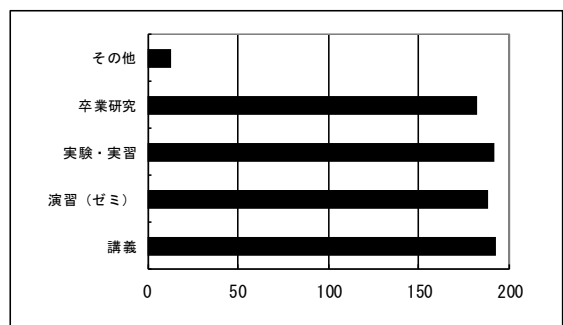
（専門教育）

【質問】 専門教育で、現在役に立っていると思うものは何ですか？（複数回答可）

- ①講義 ②演習（ゼミ） ③実験・実習 ④卒業研究 ⑤その他（具体的に： ）

【結果】

去年に比べ、②演習（ゼミ）・④卒業研究の評価が上がったことで、①～④の評価には大差がなくなっている。全般的に専門教育を通じて、研究に取り組む姿勢・論理的思考力・文章力・プレゼンテーション能力などのスキルを身に付けることが出来たことを高く評価している。プレゼン資料や論文をPCで作成した経験が役に立っているとする意見が多い。一方で、それらを授業・講義として学びたかったという意見も多く、実際に使用されている PowerPoint, Word, Excel などのソフトウェアの基本操作を習得する機会を持つことは重要だと言える。



少数意見ではあるが、在学中に資格を取っておくべきだった、あるいは取得のための勉強をしておけばよかったという反省意見も見られた。また、専門教育では「実践」を重視する意見が多く、実践につながる内容の講義・演習（ゼミ）などが高く評価されている。専門教育全般においては、卒業論文・研究、演習（ゼミ）や実習などで身に付けたものが現在の自分の基礎となる体験となっており有意義であったという意見が多い。

（学生支援）

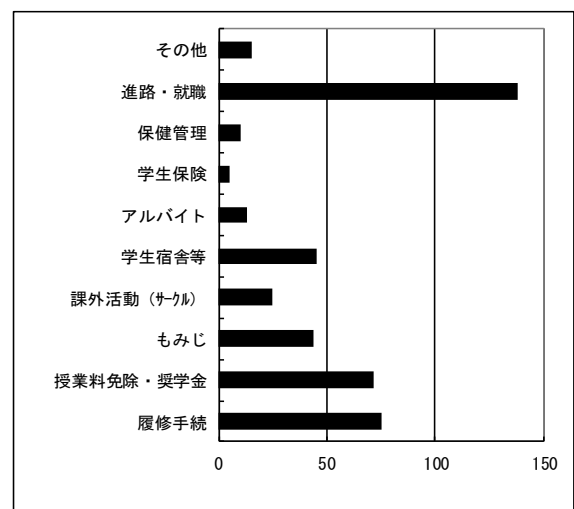
【質問】 学生対応・支援で充実・改善してほしいものは何ですか？

（複数回答可）

- ①履修手続き ②授業料免除・奨学金 ③もみじ ④課外活動（サークル） ⑤学生宿舎等 ⑥アルバイト ⑦学生保険 ⑧保健管理 ⑨進路・就職 ⑩その他（具体的に： ）

【結果】

去年と同様、⑨進路・就職について改善を求める声が多かった。例えば、キャリアセンターの活用法の広報、情報の充実化、行政（ハローワーク）や企業（OB・OG, 合同説明会）との連携強化、都市圏での就職活動支援などが求められている。①履修手続きは、「難しい・わかりにくい」という意見が多数あった。資格取得のために必要な授業、



単位取得状況など、履修に関して学生が知りたい情報を得やすいシステムや環境作りが求められている。②授業料免除・奨学金は、その制度や情報の周知や返済の負担軽減など、充実化を希望する意見が見られた。⑤学生宿舎等の数を増加・入居期間の延長の希望が多かった。一人暮らしの学生にとっては、保健センターでの診療・健康相談は評価が高かった。